

# 野菜の収穫に挑戦

## 1. GWに農作業

GWを利用して野菜を栽培する畑作りに費やした。即ち、泳ぎも散歩もしないで、毎日 8:00～日没迄庭に出て庭の一部を畑にしようと農耕作業の明け暮れで 20:00 には爆睡である。幅 1m×長さ 15mのウネを作り、土地が粘土質で野菜の発育に不適なのでJAに出向き酸性→アルカリ性に変えるために石灰×20 kg、肥料として発酵牛糞×40Lと化学肥料(カリ、リンサン、チリ)×20 kgの一部を畑に混ぜた。併せて、粘土質を柔らかくするために、土壤改良材のFFCエースの粒状培土(赤塚物産製)×15 kg×10 袋を木や花を植え込む土地(150 坪)に 1.5 日掛けて散布した。高価品であるが、植物を育てるには最善を尽くすことにした。

軽井沢からはタラの芽、山蕨、ウドを持ち帰り、知人から頂いたネギ、アシタバ、オカワカメ、ミョウガ、アスパラ、ヤーコン及び種としてアサツユ、オクラ、ハナオクラ、モロヘイヤを蒔いた。台所の片隅(土の無い所)で不安げに芽を出していた小芋(里芋)、JAからは茄子、キュウリ、トマト、ししとう(甘いトンガラシ)、ごうや、イチゴ×各 2 本の苗を買い求め植え込んだ。畑を作ったのも野菜を栽培したのも生まれて初経験で収穫が楽しみである。その後、トマトの苗を 10 本余り頂き、トマトが 15 本になり収穫時は大変だと思う(嬉しい悲鳴となろう)。

新鎌ヶ谷は風が強いので、ビニール袋を半分に切断して、四隅に棒を立て風除防止を設けた。我家は高台にあり、冬の澄み切った日には霊峰富士山が見え、太陽が涼む夕方は西空に真っ赤な太陽や夕焼けが実に見応えがある。そのうちに住宅が建並び、景色が消えるだろうが、今は高台からの遠方の景色が美しい。



野菜の風防止



西に沈む太陽



夕焼け



敷地内に井戸を掘る

## 2. 敷地内に井戸を掘る

庭の木や花の水やりに毎日 3 時間強費やしており、水道代が高い費用になるので敷地内のデットスペースに井戸(作業者×4名で井戸の深さ 27m、1.5m毎に 14 断面を掘り抜き最後は砂利層から貝殻が現われ、水量は豊富で水質も良好)を掘り、水やりに井戸水(地下水)を惜しみなく使用している。

2015. 5. 24 記

## 3. 中々行けない軽井沢

毎日、新居の水やりに 2.5~3 時間要しているから、中々軽井沢に行けず、行ったとしても 2,3 日の滞在しか出来ず、今年は高山植物のヒダカソウ、キタダケソウなどの花に遭遇しておらず、軽井沢の知人から青いけしが咲いたとの情報で写真を撮りに行った。今、家内は花の愛好者×2人と軽井沢に行っており、青いけしが観られたと上機嫌である。今日は、雨天で庭仕事が出来ず、ブログを作成する時間が取れた。

写真の青いけしは、メコノプシス・グランデイスと言い、ヒマラヤ標高 5000mのヤクの放牧周辺の大きな木立の中に生え、高さ 60 cmの丈に花を咲かせる。ブルーの花を咲かせるには酸性土壤に保ち、プータンの国花である。国内で育てるのが難しく、多分軽井沢で花を咲かせたのは我が家が初めてであろう。この花は、背丈 1mでツボミを 6 個付け愛好家を驚かせた。秘訣は、パイロゲンを 100 倍の水に薄め、FFCエースを散布したお蔭であろう。また、コマグサの種が、2 年失敗しながら 3 年目に初めて FFCエースのお蔭で新芽が顔を出した。高山植物のデカチドリは紫赤の花だが咲き始めなので色が薄い。



青いけし



コマグサの新芽



咲き初のデカチドリ

#### 4. 途中経過

野菜作りは初めてであるが、元々木や花を栽培していたから、野菜の育て方は少しわかっていたが、野菜の出来栄えに農家の方から褒められ我ながら驚いている。下記写真の他に、ごうや、へちま、トンガラシ、里芋(小芋)、オクラ、アサツユなどが後に続く。来年は、更なる高度な野菜作りに挑戦したい。



野菜の栽培



収穫した野菜



キュウリ



茄子



プチトマト



ししとう



ごうや

2015. 6. 26 記

#### 5. 中間報告

キュウリは接ぎ木だったので、次から次へと実を付け、接ぎ木の苗は実りが良い。  
トマトは知人から新苗を貰ったり脇芽を指し芽して50本余りとなり、霜が降りるまで実を付けるだろう。  
茄子とししとうは、苗の間隔が30cm程で狭かったから実りが少なく来年の教訓になった。

#### 6. 知人から苗をもらう

畑は、東側に幅1m×長さ15m程作ったが、その後知人が新しい種と苗を持ち込んでくれたので、畑が不足し、庭にオクラ、ハナオクラ、へちま、モノヘイヤ、フウシンサイ、タカノツメを植込んだ。



オクラと花



ハナオクラ



へちま



ごうや

オクラはポンズで食べ、花が咲くと直ぐ実が採れるから放置は禁物である。ハナオクラは花を咲かせると大きな花(直径15cm)が見事で、小さく刻んでポンズ、甘酢、ドレッシングで食べると美味しい、家内の友人から人気野菜である。へちまは小さい頃に皮を剥き刻んで味噌汁に入れると珍味である。モノヘイヤは、ハナオクラと同じくポンズかおしたしで食べる。フウシンサイは、中国料理で豚肉と炒めて食べる。ごうやは成長が早いから放置は禁物である。



モノヘイヤ



収穫後のフウチンサイ



ミニトマト・ゴウヤ・へちまの収穫



ハナクラ/左とフウチンサイの収穫